



第 31 号

発行日 令和 4 年 3 月 15 日
 発行 関屋小学校区コミュニティ協議会
 編集 同広報部会
 協力 新潟市立関屋中学校
 同校地域教育コーディネーター
 新潟市関屋地区公民館

せきやの灯

ここにこのん



冬に向かって防火研修！

関屋小学校区防火協会 会長 小川 徳彦

全国統一標語
 おうち時間家族は接火の燃木

コロナ禍でも例年通り関屋小学校集会室に於いて、11月9日(火)関屋小学校区防火協会主催で各自治会役員16名が出席し、防火研修会が開催されました。

令和3年度 秋の火災予防活動



この運動は火災の発生しやすい時季を迎える秋季から冬季に、新潟市消防局が実施する「秋の火災予防運動」に例年開催する防火活動で、地域の火災の減少で地域住民の福祉の増進に寄与する目的

で毎年開催しております。

今年は、コロナ禍でしたが、例年通り、11月9日(火)午後6時から防火研修会を開催しました。当日は雨が降るあいにくの天気ながら、講師は新潟中央消防署白山浦出張所の片山消防指令補・藤田消防士長に努めていただきました。また自治会から16名の自治会役員が出席しました。まず、講師の方から火災発生件数

で、この3年間は減少傾向にあることと、そのうち建物火災が多いことの報告がありました。中央区の火災傾向として、1位：電気関係・古いコーダの不使用・冷蔵庫やテレビの裏のホコリに注意が必要、こまめな清掃が必要。

2位：コンロでは、グリル等にたまった油に着火するケースが多くみられ、重大な死傷事故につながりかねない。着衣着火についての注意点として、日常行いがちなコンロの上や奥にある調味料等をとるときは火を消す、コンロの火が鍋等の底からはみ出さないように注意する等の指導があった。

3位：煙草。4位：ストーブ火災では、ストーブのそばに洗濯物を干さない、ストーブをカーテンのそばに置かない。給油時には必ず消火する。カートリッジの蓋が完全に閉まっていなくてストーブの上に石油をこぼして、火災につながる。そして、カートリッジをひっくり返すときはストープから離れたところでひっくり返す等、ちょっとした注意で防げることが多かった。

また、地震時の室内移動のために、靴・懐中電灯・ホイッスルを準備すると良いとの話がありました。

スライド・ビデオ等の視聴中心の研修会ではありましたが、日々知っていることの内容の再確認で、今一度家庭内を再点検し火災や地震に備えるには良い機会でありました。

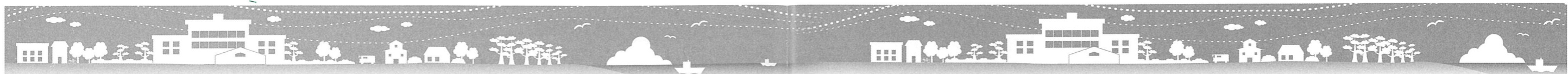
この地区は、高齢者が多くかつ一人暮らしの方もおられるので、日常の作業を基本に返ってショートカットせず行うことが、火の用心につながると思いました。

消防局からお願い

最後に、住宅用火災警報器の設置義務から10年がたち、電池切れや、機器の老朽化により取替時期にきています。警報器は半年に一度点検し、10年を目安に交換しましょう。機器の設置については、消防職員の方もお手伝いくださるとのことでした。

今回コロナ禍であり、例年は防災担当者全員参加の予定が、各自自治体1名の参加でしたが、盛況でありました。





関屋田町から川岸町へ～新潟認定こども園～



樋口氏入園当時 昭和35年12月頃



昭和33～35年頃の運動会 木造平屋建の建物

園舎移転のご挨拶

社会福祉法人新潟市社会事業協会 新潟認定こども園
園長 藤田 直子

新潟認定こども園は、昭和50年4月に木造平屋建から、鉄筋コンクリート2階建ての園舎が



今年1月に完成した新園舎



昭和50年4月に建設された旧園舎

戯室の窓からは電車がよく見えて、子どもたちも喜んでいました。他にも未就園児の親子が遊べるなかよしルームや園児が思いきり走り回るレインボーサークルなどがあります。玄関ホールは新園舎の最大の特徴でもある図書館のような絵本広場が一面に広がり、子どもたちの想像力や感性がますます豊かに育っていくことと思います。

関屋田町との絆

関屋田町の地域の皆様には創業以来地元の保育園として、お花見、芋掘り、なかよし交流会などで、子どもたちと楽しんでいただいたり、お手伝いいただいたりとたくさん支えていただきました。感謝申し上げます。1月より川岸町に移転いたしました。今後、川岸町の皆様に行事に参加していただき子どもたちの交流を深めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【住所】

〒951-8133 新潟市中央区川岸町3丁目21-2
TEL 025-266-3362

【保育園沿革】

1. 大正9年5月…第一保育園として開設
2. 昭和6年4月…第一保育園が愛国婦人会新潟県支部の経営「新潟保育園」初代高橋助七氏就任
3. 昭和17年1月…愛国婦人会新潟県支部から新潟保育園を継承し当協会として保育事業開始
4. 昭和23年4月…児童福祉法による保育所認定を受ける
5. 昭和50年4月…関屋田町の木造校舎を鉄筋コンクリート2階建校舎新築
6. 平成31年4月…幼保連携型認定こども園へ移行「新潟認定こども園」と改称
7. 令和4年1月4日オープン
川岸町3丁目に移転新築1号15名2号・3号110名、合計園児125名

【保育方針（園の保育目標等）】

- ①心も体も健康な子ども
 - ②元氣な子ども
 - ③心豊かな子ども
 - ④考える子ども
 - ⑤身の回りのことができる子ども
- 〔保育の内容〕
- ①健康な身体づくり（戸外遊び、裸足保育、なわとび）
 - ②自然にふれあう（植物を育てる、水遊び、泥んこ遊び）
 - ③交流保育（地域、未就園児混合、小学生等）
 - ④素話、絵本の読み聞かせなど

新潟保育園に想う

新潟保育園卒園生 樋口 和道

一月に「新潟認定こども園」が関屋田町から川岸町に移転しました。

同じ地域に生まれ、そこを卒園した者として、園が関屋田町から離れる事には考え深いものがあります。ここでは、旧名の新潟保育園の更に木造園

が関屋田町から離れる事には考え深いものがあります。ここでは、旧名の新潟保育園の更に木造園

入り口は寺前通側にありました。その向いの現在広い駐車場となっている場所には「田町公衆市場」が建っていました。現在の園の入口側の通りは元々旧越後線の線路跡でした。線路は撤去されたものの、今の車道にあたる部分は線路や枕木を撤去した跡が残っている草原で、市場で使っていた木箱やリヤカーなどが置かれていました。現在は歩道となっている部分と車道の間には浅い側溝が走っていて、歩道部分が細い通路になっていました。なお昭和三十九年の新潟地震の際、液状化現象としてこの浅い側溝があった場所から黒い水が噴き出し、それが各家に流れ込んで床下浸水したと祖母から聞かされていました。

関屋田町は東西に走る通りに京都の様に「一〇五条通」と名前が付けれられていますが、この線路跡の通りは「条通」ではなく、「線路端」と呼んでいた記憶があります。私の父が小さい頃には実際に線路があり機関車が走っていたそうです。

さて保育園ですが、玄関を入るとすぐに広い講堂が広がっており、園児の教室は講堂の左側と右奥に設置されていました。当時はクリスマスになるとサンタさんがやって来てプレゼントを配ってくれました。写真はその時に講堂で玄関側をバックにした記念撮影ですが、サンタが持つ袋には今は無くなってしまった小林百貨店のマークが見え時代を感じさせます。

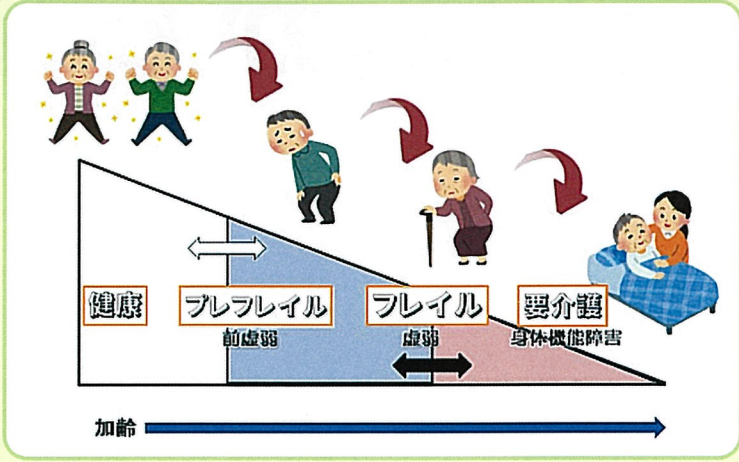
もう一枚の写真は運動会の様子です。当時と現在では、建物の配置が逆ですので、園庭は今の園舎の位置になります。当時も今も運動会は大イベントです。家族だけでなく地域の多くの人が集まりました。賞品は鉛筆やノートだったと思います。楽しい思い出でした。

電車がつながり「線路端」から線路跡が無くなり園も無くなり住民としては寂しいものですが、移転先の川岸町で再び目の前を走る越後線の電車に手を振る子どもたちと園には、新たな思い出を紡ぎ続け、新しい歴史を作り続けていきたいと思えます。



高齢者のフレイル予防運動

新潟市地域包括支援センター 関屋・白新



私たちは関屋小学校区を担当している地域包括支援センターです。主に65歳以上の方の介護相談や生活上の困りごとなどの相談を受けている事業所になります。

今回は「フレイル」についてお話したいと思います。年齢を重ね心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態をフレイルと言います。

多くの人が健康な状態からこのフレイルの段階を経て、要介護状態に陥ると考えられています。予防には運動、食事、社会参加が重要です。新型コロナウイルス感染症予防の為、外出をお控えの方も多いと思いますがフレイル予防、介護予防には、できる限り体を動かすことが大切です。自宅で出来る体操を紹介するので取り組んでみましょう。

フレイル予防運動

無理せず！

1. 踵上げ

【効果】大殿筋、下腿三頭筋

- ①足を肩幅に開く。
- ②膝を伸ばしたまま踵を上げる。
- ③5秒静止しておろす。
※5回から始めましょう。



2. 横に足上げ

【効果】中殿筋、外転筋、股関節周辺

- ①立った状態で片膝を伸ばす。
- ②横に上げて5秒静止。
- ③反対の足も同じようにする。
※左右2回から始めましょう。



3. もも上げ

【効果】腹筋、腸腰筋

- ①背もたれから背中を離して座る。
- ②お腹に力を入れる。
- ③座面から太もも裏が離れるように上げ下げする。(左右交互)。
※10回から始めましょう。



4. 上体起こし

【効果】腹筋、体の前面

- ①両膝を曲げて仰向けになる。
- ②おへそを見て頭から肩甲骨を床から離す。
- ③上げた状態で10秒静止。
※3回から始めましょう。



地域包括支援センター
関屋・白新
〒951-1814
新潟市中央区関屋大川前1-2-36 (特別養護老人ホーム 関屋おもと園内)
☎ 025-1231-5659
平日・8時30分～17時30分
土日祝日・休み